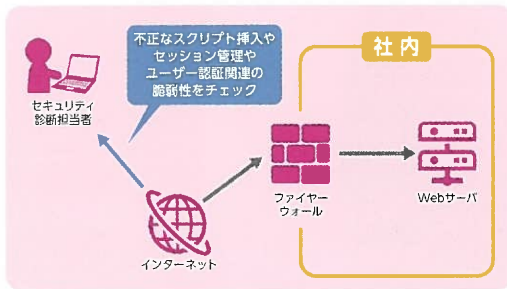


情報セキュリティコンサル診断メニュー ～①ホームページ診断編～

HRI 株式会社百五総合研究所

ホームページ診断とは



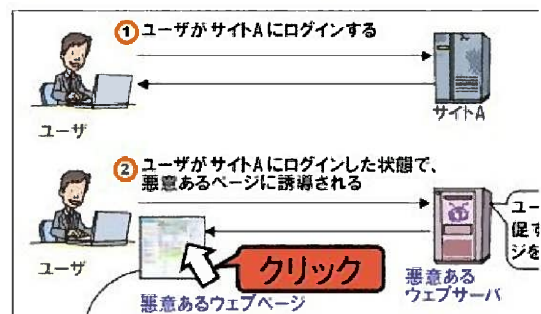
現在、ホームページは企業の情報発信の場として定着しています。企業の顔と言っても過言ではありません。そのWebサイトが改ざんされると、好意を持って訪問した方が意図しないページに誘導されてしまい、そこで個人情報を抜き取られる等の被害が発生します。改ざんされ易い作りか否かを専門家が診断します。(下図は、報告書から一部転記しました)

1.1. クリックジャッキング攻撃の例

クリックジャッキング攻撃では、例えば次のような流れで攻撃が行われます。クリックジャッキング攻撃への対策をしていないサイト、悪意あるウェブページを送信するサーバとする。

- ① ユーザがサイト A にログインする
- ② ユーザがサイト A にログインした状態で、悪意あるウェブページのブラウザ上には、ページ上の特定箇所のクリックを促す
- ③ ユーザが悪意あるウェブページのコンテンツをクリックする (コンテンツをクリックしている)
- ④ その結果、意図せずサイト A の設定を変更してしまう。

No.	脆弱性区分	脆弱性名	危険度
1	クリックジャッキング攻撃	X-Frame-Options ヘッダーの欠如	Medium
2	サイバー攻撃	Cookie set without HttpOnly flag	Medium
3	クロスサイトスクリプティング	WebBrowserXSS Protection Not	Low



Webアプリケーションを対象に診断を行い、報告書において脆弱性区分、脆弱性名、危険度、起こりうる事件、対応方法等をご報告します。一部専門性が高くなりますので、詳細につきましては下記担当までお問合せください。

- ・SQLインジェクション
- ・クロスサイトスクリプティング (XSS)
- ・クロスサイトリクエストフォージェリ (CSRF)
- ・意図しないリダイレクト 等の攻撃から守るための設定となります。

診断メニュー 1項目:16.5万円(診断15万円+税10%)

HRI 株式会社 百五総合研究所

お問合せ 経営コンサルティンググループ

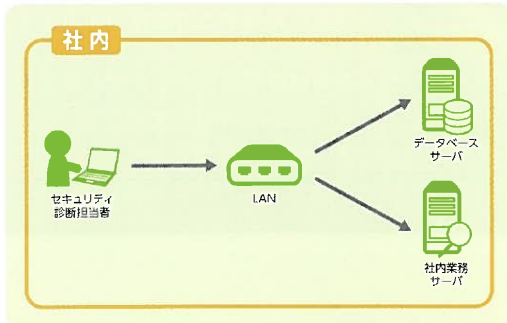
《TEL》059(228)9105 《FAX》059(228)9380

担当 古市、梅川

情報セキュリティコンサル診断メニュー ～②社内ネットワーク診断編～

HRI 株式会社百五総合研究所

社内ネットワーク診断とは



メールに添付されたファイル開封からランサムウェア（身代金要求のマルウェア）が社内LANに侵入するとデータファイルが暗号化されてしまい業務に多大な支障を来します。設置されているファイルサーバの不要なポートを事前に閉じておくことで感染を防げる場合があります。また、無線AP（Wi-Fi機器）が乗っ取られると敷地外からでも社内LANにアクセスがされてしまいます。現状を診断します。（下図は、報告書から一部転記しました）

192.168.20.19 (ファイルサーバ)

ポート番号	開閉	使用ソフト	脆弱性
53	閉	domain	ドメイン名とIPアドレスの括弧付付(名前DNS (Domain Name System)サーバ同有や、ユーザからDNSサーバへの名前られるプロトコルです。ホームページのURLやメールアドレス(ex. ntt.com)から、実際の通信で利用る際に利用されます。
88	開	KERBEROS	ポート番号 88 は、本来(KERBEROS)れる通信ポートですが、一般的には利用されていることが多いようです。
135	開	Active Directory	Active Directory を利用した環境におレーとドメイン コントローラ間、ドメイン ト間で TCP/UDP 135 ポートを遮断し、Directory の主要な機能が損なわれまを利した環境においては TCP/UDP いようにしてください。
139	開	NetBIOS Session Service	NetBIOS は、AppleTalk や NetWare の LAN (ローカル・エリア・ネットワーク) 協を想定したものです。イントラネット、Lて、便利である Windows のネットワークは、無理してフィルタする必要はありまWAN 接続やプロバイダ接続する環境の

445 開

ダイレクトホスティング SMB サービス

アクセスも、同一 LAN 上にログインされてしまっています。中には、PC 単体存も存在します。

また、ファイルやデータを共有するは、「トロイの木馬型」や「ワーム型」、



4. ネットワーク構成

IP アドレス	ホス
192.168.20.1	(不明)
192.168.20.6	SP7
192.168.20.11	DAIK
192.168.20.12	daio

オンプレミス(自社設置)のファイルサーバー等のポートの空き状態を調査、空いている場合に起こり得る障害・事象を調査報告します。LAN上のパケット調査を行い異常パケットの存在有無の調査。調査時点で接続可能な無線AP (SSID) 一覧から不明なAPが運用されていないか、暗号化レベルの分析から脆弱性報告。同一セグメントでIPアドレスを持つ機器を調査しネットワーク構成一覧表の作成を行いご報告します。

診断メニュー 1項目:16.5万円(診断15万円+税10%)

HRI 株式会社 百五総合研究所

お問合せ 経営コンサルティンググループ

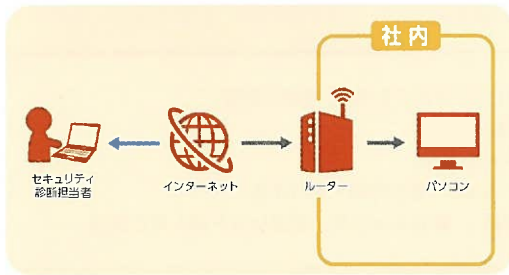
《TEL》059(228)9105 《FAX》059(228)9380

担当 古市、梅川

情報セキュリティコンサル診断メニュー ～③メール攻撃への脆弱性診断編～

HRI 株式会社百五総合研究所

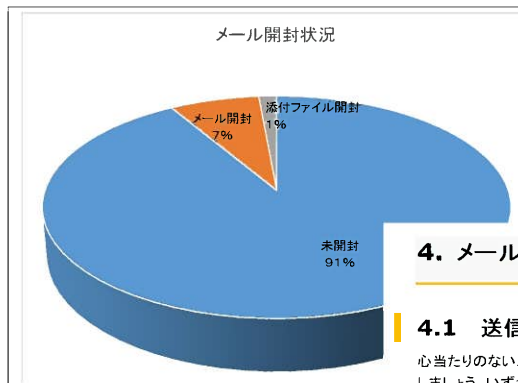
メール攻撃への脆弱性診断とは



過去取引した企業担当者から突然メールを受信。メールを開封、添付のWordファイルを開封し、マクロを実行！その瞬間にマルウェアに感染しています。感染すると社内に蔓延、また同様に取引先へ貴方が迷惑メールをばら撒いてしまい、企業として信用がガタ落ちします。職員宛に疑似メールを送信し、対応状況を診断します。（対象アドレス数：80件以下）
（下図は、報告書から一部転記しました）

■結果一覧

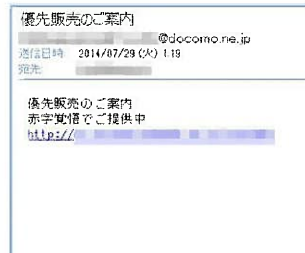
名前	1回目	添付ファイル開封	2回目	添付ファイル開封
1 株式会社〇〇〇	2017/12/4 6:24			
2 株式会社〇〇〇	2017/12/4 8:38			
3 株式会社〇〇〇				
4 株式会社〇〇〇				
5 株式会社〇〇〇			2017/12/11 7:37	



4. メールが届いたら、まず確

4.1 送信元を確認すること

心当たりのないメールが届いたら、まず「送信元」しましょう。いずれも表示されていない、自らは、迷惑メールと断定してよいでしょう。おどろかせるような、紛らわしい名前やメールアドレス



迷惑メールの例

迷惑メール送信者の目的はメールを開かせること。興味を引くよう「件名」を工夫します。「送信者」

4.3 添付ファイルを開いたり、クリックしないこと

添付ファイルはウィルスの可能性が高いので、メールの本文にある URL リンクをクリックすること。受信者のパソコンやスマートフォンをウィルスに増えています。最近では、添付ファイルを表紙に使う手法も使われています。



犯罪者は、次々と新しい手法で攻撃を仕掛けてきます。最新の手法を研究し、職員の対応状況を調査し、対応結果をご報告します。職員の意識レベルの診断と併せて更なる意識向上をご支援します。全社レベルでの対応訓練（BCP訓練）とお考え下さい。対象アドレス数上限を超える診断を希望される場合、下記担当までご相談ください。

診断メニュー 1項目:16.5万円(診断15万円+税10%)

HRI 株式会社 百五総合研究所

お問合せ 経営コンサルティンググループ

《TEL》059(228)9105 《FAX》059(228)9380

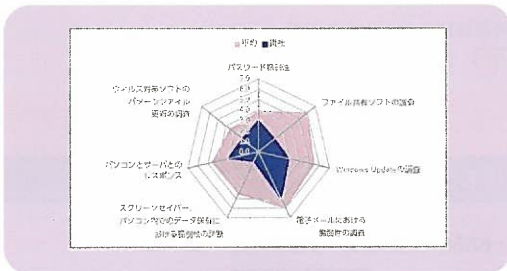
担当 古市、梅川

情報セキュリティコンサル診断メニュー ～④重要情報を取り扱うPCの脆弱性診断編～

HRI 株式会社百五総合研究所

重要情報を取り扱うパソコンの脆弱性診断とは

マイクロソフトは、最新OSのWin10であってもサポート終了を発表していることをご存じでしょうか？年に2回機能アップデートを実施しており、3世代以上古いバージョンには修正プログラムが提供されなくなります。最新バージョンで運用できているか、意図しないプログラムが稼働していないか等診断します。（下図は、報告書から一部転記しました）



主な診断項目を以下に列挙します。

診断項目	内容
1 使用しているOS	OSのバージョン
2 パスワード脆弱性	パスワード
3 ファイル共有ソフトの調査	ファイル共有ソフトの確認
4 Windows Update の調査	Windows Updateの確認
5 PCにインストールされているソフトウェア製品が最新のバージョンであるかを確認する	脆弱性対策ソフトの確認
6 ウィルス対策ソフトのパターンファイル更新の調査	ウィルス対策ソフトの更新の確認
7 当社作成のウィルスがチェックされるかの確認	ウィルス対策ソフトの確認
8 スクリーンセーバー、パソコン内でのデータ保存における脆弱性の調査	スクリーンセーバー、データ保存の脆弱性の調査

バージョン	サポート終了日	必要対応
バージョン 1803 以前	既に終了	20H2 への更新が必要
バージョン 1809	2020 年 11 月 10 日に終了	20H2 への更新が必要
バージョン 1903	2020 年 12 月 8 日に終了	20H2 への更新が必要
バージョン 1909	2021 年 5 月 11 日に終了	継続使用可能
バージョン 2004 (20H1)	2021 年 12 月 14 日に終了	継続使用可能

最新のWindows 10である「October 2020 Update」(以下20H2と表記)は、2020年10月13日(現地時間、日本時間は翌14日の午前3時)に配布が開始された。

チェック対象 SW製品名	脆弱性 (IPA が重要)
Adobe Flash Player	バージョン 10. x 以降 ※ブラウザ(Internet Explorer)にインストールされている Adobe Flash Player
Adobe Reader	バージョン 8. x、9. x、 Reader DC
Google Chrome	バージョン 11. x、12. x
JRE (Java 実行環境)	バージョン 1.5. x (5. x)、 1.8. x (8. x)、9. x
Lhaplus	バージョン 1.5. x 以降

	CPU	Private Bytes	Working Set
wininit.exe	8516	60 K	8 K
smss.exe	043	216 K	4272 K
svchost.exe	017	0 K	0 K
csrss.exe		1372 K	572 K
smss.exe	<001	1,024 K	389,336 K
svchost.exe	001	2,924 K	4,096 K
csrss.exe		1,928 K	4,528 K
smss.exe	<001	8,008 K	11,056 K
svchost.exe		12,008 K	2,624 K
csrss.exe	<001	37,644 K	47,744 K
wininit.exe		15,388 K	20,952 K
smss.exe		9,492 K	7,336 K
svchost.exe		4,776 K	8,720 K
csrss.exe		2,060 K	12,384 K
smss.exe	001	27,804 K	72,860 K
svchost.exe		7,340 K	25,340 K
csrss.exe	Suspe...	144,276 K	38,216 K
smss.exe		8,600 K	23,584 K
svchost.exe	Suspe...	14,868 K	780 K
csrss.exe	Suspe...	2,204 K	268 K
smss.exe		2,816 K	14,936 K
svchost.exe		2,864 K	14,880 K
csrss.exe		111,628 K	1,01,020 K
smss.exe		6,232 K	13,420 K
svchost.exe		6,340 K	16,408 K
csrss.exe		15,780 K	38,456 K
smss.exe	<001	18,268 K	33,100 K
svchost.exe	Suspe...	23,284 K	6,864 K
csrss.exe		7,472 K	26,348 K
smss.exe		1,380 K	7,856 K

6. 当社作成のウィルス

当社が作成したウィルス。

問題ありませんでした。

番号	IP アドレス	ID
1	192.168.11.58	t-1
2	192.168.11.117	k-1

システムベンダーにすべて委ねて安心していたらアップデートを止めてありサポートが切れていた。このような事態を招く前に、PC個々のOSご利用バージョン、脆弱性を有するソフトウェアのバージョン、アンチウイルスソフトが模擬ウイルスを捕獲するか、不明なアプリケーションが稼働していないか等の定期健診をお奨めします。重要情報を取り扱うPC数台を選定いただき、Windows OSのアップデート状況の確認や、疑似ウイルスへのアンチウイルス検知状況などを診断し結果をご報告します。

診断メニュー 1項目:16.5万円(診断15万円+税10%)

HRI 株式会社 百五総合研究所

お問合せ 経営コンサルティンググループ

《TEL》059(228)9105 《FAX》059(228)9380

担当 古市、梅川